

主宰作品

染谷秀雄

## 寒の内

妻に荷を負うてもらひぬ冬日和  
叡山に雨の気配や日短  
叡山のしぐれの来たる門跡寺  
白菜を括りし紐の解けがち  
霜の菊長身にして括らるる  
家居して雨の七種過ぎにけり  
やうやくに添水鳴りたる寒の寺  
散り降りてゐて山茶花のなほさかん  
汲置の火防の水も寒の内  
満月を上げて一月十五日